

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2020年6月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール 2022年開催決定!

第7回仙台国際音楽コンクール 入賞者に聞きました「いま、そしてこれから」1回目

1年前、第7回仙台国際音楽コンクールに出場し、審査委員、そして多くの聴衆の前で熱演を披露してくれた入賞者の皆さん。そして2020年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な影響により、予定していた仙台のステージで再会することが困難な状況が続いています。

そこでコンクール後の、「いま、そしてこれから」について、以下の質問で伺ってみました（掲載順は順不同です）

Q①: 仙台国際音楽コンクール後は、どんな生活・音楽活動をしていましたか。

Q②: 新型コロナウイルスの感染防止による音楽活動上の制限を受けましたか。そのような状況であなたがはじめたことや、やってみようと考えていることはありますか。

Q③: 昨年のコンクール中、またはコンクール後の動画配信であなたの演奏を聴いていた方たちへメッセージをお願いします。

バロン・フェンウィック Baron FENWICK

Q①: コンクールから1年たってしまったなんて信じられません。昨年は多くの忘れられない演奏会や旅行など楽しい出来事があった一年でした。私の母校のマネスオーケストラとの共演を含め、オーケストラとの共演を何度か行い、また、ニューヨークでのリサイタルやアメリカ西海岸へのコンサートツアーも行いました。コンクールで2位を受賞したおかげで、ここ私の地元でも大きな評価を得ることが出来、家族、友達、先生方や音楽仲間たちも大いに喜んでくれました。財政的にも余裕が出来て、これからさらに演奏家として専念し、実績を積み上げていくのに大変助かっています。今年はその一部を使って最初のCDを制作・発売したいと考えています。

仙台で腕を競ったことはまた自分自身の成長の糧となりました。1人1人の出場者はそれぞれ卓越した創造性を維持していくために高い目標を掲げていると思います。仙台で過ごした私の2週間と4度の演奏を一生懸命にこなしていく中で、私は味わったことのない高度な集中力や充実感を得ることができました。それ以来、気力が衰えそうだなと思う時には、あの時、練習室からコンサートホールのステージへ向かう時の気持ちはどんなだったか、ステージが終わった後、練習室に戻るときはどうだったかを思い出すようにしています。そうすると力が湧いてきて頑張れるのです。

Q②: 私の演奏活動は、ここ数か月間、厳しい状況が続いています。最後の公演が2月28日でそれ以降多くのコンサート、コンクールが中止になり、中国、韓国、仙台にもいけなことが決まりました。8年間住んでいたニューヨークは新型コロナウイルスの影響が特にひどく、3月にノースカロライナ州の山地にある両親の家に移転しました。秋まではニューヨークには戻らない予定です。

今、この機会に新たな創造性を獲得しようとしています。時間があるのでいろいろなことに集中できます。

ずっと作曲をしたかったのですが、いくつか作品を完成することができました。そのうちの1つは仙台にいた時に書き始めたピアノ曲です。

仙台での初日、朝とても早く起きてしまい、地下鉄に乗って日立システムズホール仙台の前で開館を待っていました。その時、通りの向こうにある台原森林公園を眺めていました。その風景に何か美しく、神秘的なものを感じました。この曲では、初めて経験する世界にたった1人、これから何が始まるのだろうかという感じを出せたらいいなと思っています。

そして、もちろん練習時間も十分にあります。今まで時間がなくてきちんと練習できなかったラフマニノフのプレリュード、プロコフィエフのピアノ協奏曲第2番、その他、数多くの曲を練習しました。今、ショパンのエチュード全24曲の完成を試みています。

たぶん24年後のコンサートに間に合うのかなw



Q③: 昨年、仙台で私の演奏を鑑賞して下さった皆様、私が日本に滞在中、出演しているときやそうでない普通の時でも、とても大きなエネルギーを送ってくれて感謝しています。多くの皆さんが温かく迎えてくれたのを覚えています。言葉がわからないこともありましたが、皆様の温かい気持ちはいつまでも心に残っています。特にメッセージをくださった方々、細やかな配慮でコンクールを運営して下さった方々に感謝を申し上げます。音楽というものは私たちが共有できる深い感動を伝えあう力強い言葉です。またコンサートで仙台の皆様にお会いしたいと思っています。

裏面へ



■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp

北田 千尋 KITADA Chihiro

Q①: ソロリサイタルのほか、ヴァイオリンデュオ、トリオ、カルテット等の演奏会を行いました。昨年秋には、大学時代から組んでいるカルテット(カルテット・アマービレ)でニューヨークで開催されたヤングコンサートアーティストオーディションにも参加し、2021年にはアメリカでのツアーも予定しています。

コンクール後はコンチェルトを弾く演奏会にお声かけいただける機会が増え大変嬉しく思っています。仙台で出会ったみなさんとは今でも連絡を取り合ったりしています。たくさんの素晴らしい出会いに感謝しています。

Q②: いくつかの演奏会が無くなりましたが、コンサートのためだけでなく、少し立ち止まって、じっくり自分の課題に向きあう時間ができました。これからの音楽への取り組み方についても、いろいろと考えることができる良い機会となりました。

デジタル機器はあまり得意ではないですが、カルテット・アマービレで、リモートアンサンブルに挑戦しました。

Q③: コンクールから1年が経ったとは思えないほど、あっという間でした。

コンクール期間中はたくさんの方が応援の言葉をかけてくださり、大きな力をいただきました。自分で動画をみて振り返ってみると、演奏できる喜びが爆発した数週間だったように思います。

本当に幸せな時間をありがとうございました。今は演奏会を開催することがなかなか難しい状況ですが、また安心して演奏会ができる日がきましたら、さらに成長した姿をみていただけるようしっかりと力を蓄えて精進したいと思います。



佐藤 元洋 SATO Motohiro

Q①: コンクール後のこの1年間は、留学中のドイツ・ベルリン、また各地のマスタークラス等での学びと平行して、演奏会を主とした活動になりました。仙台国際音楽コンクールをきっかけに生まれたご縁も多くあり、これまでになかった新たな形、新たな場所での演奏機会にも恵まれました。コンクールを通して私のことを知ってくださった方も、いらっしゃるのではと思います。そのおかげもあり、2月には東京文化会館でのソロリサイタル、という大きなステージにも挑戦し、多くの方に演奏を聴いていただくことが叶いました。

Q②: 私の出演予定であった演奏会も、3月から9月頃にかけてその全てが中止や延期となってしまいました。特に今年の春夏シーズンは、ヨーロッパでも、日本でも多くの演奏会を予定していました。6月に再び仙台を訪れ演奏させていただくことになっていましたし、沢山の楽しみなステージに立つことができなかつたのは、状況を鑑みれば致し方ないとはいえ、寂しいことでした。この期間は、新しいレパートリーを勉強したり、本を読んだり、オンラインで様々な音楽や舞台芸術に触れたり…自分の中に「蓄える」時間となりました。今後いつどのように演奏会を再開させていけるかを見通すことは難しいですが、次のステージに向けて準備をするとともに、自らも発信していける新たな形を模索したいと考えています。

Q③: コンクール期間中の仙台での刺激的な日々は、つい先日のごとくのように思えるほど強く記憶され、今も振り返れば自分にとって本当に大きな経験だったのだと痛感します。また、コンクールを通して、たくさんの方から温かいお言葉や励ましをいただいたことは、心の糧となっています。大きな力をいただき、今後も音楽との日々を進んでいきます。

今は音楽家にとっても、また音楽を楽しむ身としても、同じ空間で音を共有できないという難しい時です。しかし、再び音楽との日常が戻ってきた時、私たちはこれまで以上に音楽の力を全身で感じるようになる、そう期待しています。

この感染症によって生まれる苦しみが減っていくこと、そして近く再びステージで皆さまにお会いできることを、心から願っています。

*次号も引き続き入賞者の皆さんからのメッセージを掲載させていただきます!



第7回仙台国際音楽コンクール公式CD発売中!

定価: 2,640円(税込) 全国のCDショップで取扱中!!



チェ・ヒョンロク
CHOI Hyounglok
ピアノ部門優勝者
[FOCD9825]
モーツァルト: ピアノ協奏曲 卜長調 K453
*ファイナル演奏曲
チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
*ガラコンサート演奏曲
指揮: 広上 淳一
管弦楽: 仙台フィルハーモニー管弦楽団



シャノン・リー
Shannon LEE
ヴァイオリン部門最高位(第2位)
[FOCD9824]
バルトーク: ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz.112
*セミファイナル演奏曲
モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲 二長調 K218
*ファイナル演奏曲
指揮: 高関 健
管弦楽: 仙台フィルハーモニー管弦楽団

■お問い合わせ先/ 公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp